

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成26年12月25日 (2014.12.25)

【公開番号】特開2014-213178(P2014-213178A)
 【公開日】平成26年11月17日 (2014.11.17)
 【年通号数】公開・登録公報2014-063
 【出願番号】特願2013-95939(P2013-95939)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】
 【提出日】平成26年10月23日 (2014.10.23)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、
 回路基板を収納する第 1 被覆体及び第 2 被覆体からなる基板ケースと、
 前記第 1 被覆体と前記第 2 被覆体とを封止状態とする封印シールと、
 前記基板ケースに貼付された封印シールを被覆可能な封印シール被覆部材と、
 を備え、
 前記封印シールは、
 該封印シールの粘着力を低下させるために所定の溶剤が用いられたときに該溶剤が使用
 された痕跡を残す溶剤使用特定部を有し、
 該封印シールの粘着力を低下させるために所定の溶剤が用いられたときに発色する溶剤
 発色部からなり、
 前記溶剤発色部は、該溶剤発色部の経時変化により発色する色とは異なる色に発色する
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 0
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 0】

前記課題を解決するために、本発明の請求項 1 に記載の遊技機は、
遊技を行うことが可能な遊技機（例えば、スロットマシン 1 / パチンコ遊技機 1 0 0 1
 ）であって、
 回路基板（例えば、遊技制御基板 4 0 / 主基板 1 0 3 1）を収納する第 1 被覆体（例え
 ば、ベース部材 2 0 1 / ベース部材 1 2 0 1）及び第 2 被覆体（例えば、カバー部材 2 0
 2 / カバー部材 1 2 0 2）からなる基板ケース（例えば、基板ケース 2 0 0 / 基板ケース
 1 2 0 0）と、
 前記第 1 被覆体と前記第 2 被覆体とを封止状態（例えば、基板ケースが開封されたらそ
 の痕跡が残るように閉鎖した第 2 封止状態）とする封印シール（例えば、封印シール 4 0

0 / 封印シール 1 4 0 0) と、

前記基板ケースに貼付された封印シールを被覆可能な封印シール被覆部材 (例えば、シール保護カバー 2 2 8 / シール保護カバー 1 2 2 8) と、
を備え、

前記封印シールは、該封印シールの粘着力を低下させるために所定の溶剤が用いられたときに該溶剤が使用された痕跡を残す溶剤使用特定部 (例えば、所定の剥離液 (例えば、溶剤 A や溶剤 B など) と接触することにより該剥離液に溶解する特殊インクにて印刷形成された第 1 溶剤使用表示部 4 5 0 A ~ 4 5 0 D、第 2 溶剤使用表示部 4 6 0 A ~ 4 6 0 D / 第 1 溶剤使用表示部 1 4 5 0 A ~ 1 4 5 0 D、第 2 溶剤使用表示部 1 4 6 0 A ~ 1 4 6 0 D) を有し、

該封印シールの粘着力を低下させるために所定の溶剤が用いられたときに発色する溶剤発色部 (例えば、予め混入された無数のマイクロカプセル 4 0 1 a, 4 0 1 b が溶剤 A, B に接触することにより溶解して内封されている青色インクが流出することにより青色に発色するシール基材 4 0 1 / シール基材 1 4 0 1) からなり、

前記溶剤発色部は、該溶剤発色部の経時変化 (例えば、経年劣化) により発色する色 (例えば、赤色) とは異なる色 (例えば、青色) に発色することを特徴としている。

この特徴によれば、溶剤を使用して封印シールの粘着力を低下させようとした場合、該封印シールの溶剤使用特定部に該溶剤が使用された痕跡が残ることで、溶剤を使用して封印シールの粘着力を低下させようとしたことがわかるようになるため、溶剤により剥離した封印シールを再度貼付するといった不正行為を抑制できるとともに、封印シールは封印シール被覆部材により被覆されることで、封印シールを剥離するには封印シール被覆部材を取り外さなければならず手間がかかるようになるため、不正行為を抑制することができる。また、溶剤を使用して封印シールの粘着力を低下させたときに溶剤発色部が発色する色が、経時変化より発色する色とは異なることで、溶剤発色部が溶剤により発色したものか経時変化により発色したものかを判断しやすくなる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

本発明の手段 1 に記載の遊技機は、請求項 1 に記載の遊技機であって、

前記第 1 被覆体 (例えば、ベース部材 2 0 1 / ベース部材 1 2 0 1) に設けられた第 1 被覆体側封印シール貼付部 (例えば、ベース側封印部 2 2 9 / ベース側封印部 1 2 2 9) と、前記第 2 被覆体 (例えば、カバー部材 2 0 2 / カバー部材 1 2 0 2) に設けられた第 2 被覆体側封印シール貼付部 (例えば、カバー側封印部 2 2 4 / カバー側封印部 1 2 2 4) と、を含む封印シール貼付部を備え、

前記封印シールが前記第 1 被覆体側封印シール貼付部と前記第 2 被覆体側封印シール貼付部とに跨るように貼付されたときに該第 1 被覆体側封印シール貼付部と該第 2 被覆体側封印シール貼付部との境界部 (例えば、境界部 Z) に位置しない部分に前記溶剤使用特定部が配置されている (例えば、図 1 5 (a) に示すように、封印シール 4 0 0 は、基板ケース 2 0 0 に貼付されたときに境界部 Z に掛からない位置に第 1 溶剤使用表示部 4 5 0 A ~ 4 5 0 D、第 2 溶剤使用表示部 4 6 0 A ~ 4 6 0 D が印刷されている。 / 図 3 3 (a) に示すように、封印シール 1 4 0 0 は、基板ケース 1 2 0 0 に貼付されたときに境界部 Z に掛からない位置に第 1 溶剤使用表示部 1 4 5 0 A ~ 1 4 5 0 D、第 2 溶剤使用表示部 1 4 6 0 A ~ 1 4 6 0 D が印刷されている。)

ことを特徴としている。

この特徴によれば、封止状態としたときに溶剤使用特定部が境界部に掛かることがないので、例えば、遊技店において回路基板の検査等のために封印シールを破断して基板ケー

スを開放したことにより溶剤使用特定部が破断してしまうことで、それ以前に溶剤と接触した痕跡が表れていたことが判りにくくなってしまうことが防止される。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明の手段 2 に記載の遊技機は、請求項 1 または手段 1 に記載の遊技機であって、前記溶剤使用特定部は、前記封印シール（例えば、封印シール 400）が前記基板ケース（例えば、基板ケース 200）に貼付されたときに前記回路基板（例えば、遊技制御基板 40）において制御用マイクロコンピュータ（例えば、メイン制御部 41（メイン CPU 41a、ROM 41b、RAM 41c、I/Oポート 41d））が実装される実装面（例えば、実装面 40a）と同方向を向く部分に配置されている（例えば、図 15（a）に示すように、封印シール 400 は、基板ケース 200 に貼付されたときに実装面 40a と同方向（上方）を向く部分である上部領域 R1 に第 1 溶剤使用表示部 450A が配置されている）

ことを特徴としている。

この特徴によれば、溶剤使用特定部及び制御用マイクロコンピュータの実装面の双方を一緒に視認することができることで、溶剤使用特定部及び制御用マイクロコンピュータに対する不正行為の確認作業を容易に行うことが可能となるため、作業負担を軽減できる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明の手段 3 に記載の遊技機は、請求項 1、手段 1、手段 2 のいずれかに記載の遊技機であって、

前記封印シール（例えば、封印シール 400 / 封印シール 1400）は、各々を識別可能な識別情報（例えば、シリアル番号や 2 次元バーコードなど）が表示された識別情報表示部（例えば、第 1 識別情報表示部 451 / 第 1 識別情報表示部 1451、第 2 識別情報表示部 452 / 第 2 識別情報表示部 1452）を有し、

前記基板ケースに貼付されたときに互いに同方向を向く部分に前記溶剤使用特定部と前記識別情報表示部とが配置されている（例えば、図 15（a）に示すように、封印シール 400 は、基板ケース 200 に貼付されたときに互いに同方向（上方）を向く部分である上部領域 R1 に第 1 溶剤使用表示部 450A と第 1 識別情報表示部 451 及び第 2 識別情報表示部 452 とが配置されている。/ 図 33（a）に示すように、封印シール 1400 は、基板ケース 1200 に貼付されたときに互いに同方向（右側方）を向く部分である右側方領域 R10 に第 1 溶剤使用表示部 1450A、1450B と第 1 識別情報表示部 1451 及び第 2 識別情報表示部 1452 とが配置されている）

ことを特徴としている。

この特徴によれば、溶剤使用特定部及び識別情報表示部の双方を一緒に視認することができることで、溶剤使用特定部及び識別情報表示部の確認作業を容易に行うことが可能となるため、作業負担を軽減できる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 6 】

本発明の手段 6 に記載の遊技機は、請求項 1、手段 1～手段 5 のいずれかに記載の遊技機であって、

前記基板ケース（例えば、基板ケース 2 0 0 / 基板ケース 1 2 0 0）は、前記封印シール（例えば、封印シール 4 0 0 / 封印シール 1 4 0 0）が貼付される封印シール貼付部（例えば、ベース側封印部 2 2 9、カバー側封印部 2 2 4 / ベース側封印部 1 2 2 9、カバー側封印部 1 2 2 4）を有し、

前記封印シール貼付部の周囲には、貼付された封印シールの周囲を囲むように周壁部（例えば、位置決め凸条 4 1 1，4 2 1 / 位置決め凸条 1 4 1 1，1 4 2 1）が形成されている

ことを特徴としている。

この特徴によれば、封印シールを剥離する際に周囲の周壁部が邪魔になって剥離しにくくなるため、溶剤により剥離した封印シールを再度貼付するといった不正行為を抑制できる。

【 手 続 補 正 7 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 5 8

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 5 8 】

このようにスタートスイッチ 7 を除く各種電気部品と遊技制御基板 4 0 とを、スロットマシン 1 の本体（本実施例では、筐体 1 a）所定箇所に取り付けた電源基板 1 0 1 及び各中継基板 1 1 0、1 2 0、8 0 を経由して配線接続することで、遊技制御基板 4 0 からスロットマシン 1 の本体所定箇所に個々に配設される複数の電気部品との配線の取りまとめが容易になるとともに、コネクタ接続部が常に中継基板または遊技制御基板 4 0 に設けられることになり、これにより各電気部品それぞれのコネクタ接続部が固定されるため、配線接続作業時においてコネクタ接続部を探したり、接続する配線の種類を間違えること等が防止される。

【 手 続 補 正 8 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 6 9

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 6 9 】

また、本実施例では、ゲームの進行に応じて遊技制御基板 4 0 に対して信号を入力する第 1 の電気部品 5、6、7、8、3 1、3 3 L，3 3 C，3 3 R、3 5 及びゲームの進行に応じて遊技制御基板 4 0 から信号が出力される第 2 の電気部品 3 2 L，3 2 C，3 2 R、3 4 のうち、スタートスイッチ 7 と遊技制御基板 4 0 との間のコネクタ接続のみコネクタ規制部材 6 5 0 を設けてコネクタ同士の接続の解除を規制している。すなわちその信号がなければ遊技を進行させることができない電気部品の一つであるスタートスイッチ 7（スタートスイッチ 7 からの信号が入力されなければゲームを開始することが不可能となる）と遊技制御基板 4 0 との間のコネクタ接続のみコネクタ規制部材 6 5 0 を設けてコネクタ同士の接続の解除を規制しており、他の電気部品と遊技制御基板 4 0 との間でコネクタ同士の接続を解除して打ち込み器具のコネクタに差し替えた場合でも、実質的に遊技を自動的に進行させることができなくなるため、最小限の規制で不正行為を防止することが可能となり、これらコネクタ同士の接続を解除するための部品点数を減らすことができる。

【 手 続 補 正 9 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 8 4

【 補 正 方 法 】 変 更

【補正の内容】

【0084】

そして、サブCPU91aは、その起動時においてRAM91cの全ての領域に格納されたデータに基づいてRAMパリティを計算し、RAMパリティが0であることを条件に、RAM91cに記憶されているデータに基づいてサブCPU91aの処理状態を電断前の状態に復帰させるが、RAMパリティが0でない場合(1の場合)には、RAM異常と判定し、RAM91cを初期化するようになっている。この場合、サブCPU91aと異なり、RAM91cが初期化されるのみで演出の実行が不能化されることはない。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0121

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0121】

(基板ケース)

基板ケース200は、図6に示すように、回路基板の一例である遊技制御基板40の裏面(他面)40b側を覆う第1被覆体としてのベース部材201と、遊技制御基板40の実装面(一面)40a側を覆う第2被覆体としてのカバー部材202と、から構成され、遊技制御基板40を挟持するように組み付けられるものである。尚、遊技制御基板40の実装面40aには、特に詳細な図示はしないが、メインCPU41a、ROM41b、RAM41c、I/Oポート41dを備えたマイクロコンピュータ(制御用マイクロコンピュータ)からなるメイン制御部41や、他の基板からのケーブルの一端に設けられたケーブル側コネクタ等が接続される基板側コネクタ620a~620d等が多数実装されている。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0133

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0133】

取付封止片230、予備用取付封止片231、予備用封止片232の筒状部は、上面が開口する有底四角筒状に形成され、内部にワンウェイネジ240a~240cを収納可能な大きさを有し、ワンウェイネジ240a~240cの上部を収納可能な大きさに形成されているとともに、底部には、ワンウェイネジ240a~240cの頭部の直径よりも小径の取付孔234、235が形成されている。取付孔234は、封止状態において、ネジ孔210の対向位置に配置される。取付孔235、235は、後述する取付状態において、ネジ穴316a、316bの対向位置に配置される。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0140

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0140】

そして、各係合片220が各係合溝250の端部に当接するとともに、カバー側溶着部223の右端部が規制片(図示略)に当接してスライド移動が規制されると、左側の短辺では、ベース部材201の係止片203、203が挿通穴222、222内に挿通される。このように、各係合片220が各係合溝250に係合され、カバー側溶着部223の右端部が規制片(図示略)に係止され、係止片203、203が挿通穴222、222内に挿通されることによりベース部材201にカバー部材202が組み付けられ、ベース部材201に対するカバー部材202の組付位置が決定し、ベース部材201とカバー部材2

02とが位置合わせ（合体）されてベース部材201の開口が閉鎖された閉鎖状態（係止状態）となり、後述する封止が可能な状態となる（図9及び図10参照）。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0145

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0145】

封印シール400は、図15（a）に示す封印シール400の正面視において左右幅方向を向く長辺L10と上下方向を向く短辺L20とを有する略長形状に形成されており、図15（b）に示すように、封印シール400は、封印シール400を貼付可能とするための粘着剤層402と、該粘着剤層402が形成されるシール基材401と、から構成されており、粘着剤層402の表面には剥離紙404が貼付されている。この剥離紙404は封印シール400を基板ケース200に貼り付ける際に剥離される。尚、粘着剤層402は、シール基材401の全域にわたり設けられている。

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0225

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0225】

底板310aにおける右側の短辺部近傍には、基板ケース200の取付封止片230及び予備用取付封止片231に挿通されるワンウェイネジ240a、240bが取り付けられるネジ穴316a、316bが形成された取付台座315が装着される台座装着穴317が形成されている。取付台座315は、底板310aの裏面側から台座装着穴317内に嵌合により装着されるようになっている。装着時においては、図13（a）に示すように、ネジ穴316a、316bは底板310aの前面よりも前方に突出した状態で取付封止片230及び予備用取付封止片231の取付孔235、235に対向配置されるようになっている。

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0240

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0240】

また、仮止め状態としたときに、カバー部材202における取付封止片230及び予備用取付封止片231が取付台座315に対向配置され、取付封止片230及び予備用取付封止片231の取付孔235、235が取付台座315のネジ穴316a、316bに合致する。ここで、図13（a）に示すように、取付封止片230内に収容されていたワンウェイネジ240aをドライバーによりネジ穴316aに螺入すると、可動ベース302に対して基板ケース200が離脱不能に取り付けられる。

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0241

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0241】

すなわち、ワンウェイネジ240aは、一度ネジ穴316aに取り付けられると、ドライバー等の工具を操作溝に差し込んでも、ワンウェイネジ240aを逆回転させることができない、つまり二度とネジ穴316aから取り外すことはできない取付部材であるため

、基板ケース２００は、該基板ケース２００または可動ベース３０２等の所定部位（例えば取付封止片２３０の切断片２３３等）を切断（破壊）しない限り可動ベース３０２から取り外すことができない取付状態で取り付けられる。

【手続補正１７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０２４２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０２４２】

また、遊技制御基板４０の検査等のために基板ケース２００を可動ベース３０２から取り外す場合、取付封止片２３０の切断片２３３を切断する必要があるばかりか、ネジ穴３１６ａにねじ込まれたワンウェイネジ２４０ａ及び基板ケース２００から切断された取付封止片２３０を取付台座３１５から取り外すことができず、可動ベース３０２に保持されて残存するため、当該取付封止片２３０にワンウェイネジ２４０ａを取り付け、同じように可動ベース３０２に取り付けることはできない。すなわち、一度可動ベース３０２に対する基板ケース２００の取付状態を解除した後は、一度取付に使用した取付封止片２３０とは別の予備用取付封止片２３１に予備のワンウェイネジ２４０ｂを取り付け、別のネジ穴３１６ｂに取り付けることになる。

【手続補正１８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０２５４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０２５４】

また、本実施例では、基板ケース２００は、図２に示すように、筐体１ａの背板上部に取り付けられている。また、各種ケーブル６００ａ～６００ｃ、６００ｋが接続される基板側コネクタ６２０ａ～６２０ｃ等が臨むコネクタ用開口２３６ａ～２３６ｇは、基板ケース２００の下辺部に沿って配設されている。そして、遊技制御基板４０に接続されるこれらケーブル６００ａ～６００ｃ、６００ｋのうち、ケーブル６００ａ～６００ｃは、図１４に示すように、基板ケース２００の下方位置において筐体１ａの左側板内面に設けられた配線フックＨＦによりまとめて配線されている。また、他のケーブル６００ｋは下方に延設され、筐体１ａにおける基板ケース２００よりも下方位置に配設されたリール中継基板１２０等に接続されている。

【手続補正１９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０２６６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０２６６】

また、封印シール４００は、回路基板の一例である遊技制御基板４０において制御用マイクロコンピュータ（メインＣＰＵ４１ａ、ＲＯＭ４１ｂ、ＲＡＭ４１ｃ、Ｉ／Ｏポート４１ｄを備えたマイクロコンピュータ）が実装される実装面４０ａと同方向（上方）を向く部分である上部領域Ｒ１に第１溶剤使用表示部４５０Ａ及びシール基材４０１の左方側に配置された第２溶剤使用表示部４６０Ａ～４６０Ｃが配置されているため、第１溶剤使用表示部４５０Ａ、シール基材４０１の左方側に配置された第２溶剤使用表示部４６０Ａ～４６０Ｃ及び制御用マイクロコンピュータの実装面４０ａの双方を一緒に視認することができること（図１４（ａ）及び図２０（ａ）参照）、溶剤使用表示部４５０Ａ及び制御用マイクロコンピュータ（メインＣＰＵ４１ａ、ＲＯＭ４１ｂ、ＲＡＭ４１ｃ、Ｉ／Ｏポート４１ｄを備えたマイクロコンピュータ）に対する不正行為の確認作業を容易に行うことが可能となるため、作業負担を軽減できる。

【手続補正 20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0267

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0267】

尚、制御用マイクロコンピュータ（メイン CPU 41a、ROM 41b、RAM 41c、I/Oポート 41dを備えたマイクロコンピュータ）に対する不正行為の確認作業とは、例えば、メイン CPU 41a、ROM 41b、RAM 41c、I/Oポート 41dに不正な回路基板が接続されていたり、メイン CPU 41a、ROM 41b等が不正なCPU、ROM等に交換されたりしていないかを確認する作業であるため、これらが搭載される実装面 40aと溶剤使用表示部 450Aとが上方に向けて配置されていれば、基板ケース 200の前面側から双方の状況を一度に確認することが可能となる。

【手続補正 21】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0269

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0269】

また、本実施例では、封印シール 400は、これら第1溶剤使用表示部 450A、シール基材 401の左方側に配置された第2溶剤使用表示部 460A～460C、第1識別情報表示部 451及び第2識別情報表示部 452とが互いに同方向（上方）を向く部分である上部領域 R1に配置されていることで、制御用マイクロコンピュータ（メイン CPU 41a、ROM 41b、RAM 41c、I/Oポート 41dを備えたマイクロコンピュータ）が実装される実装面 40aと同方向（上方）を向くことになることで、第1溶剤使用表示部 450A、シール基材 401の左方側に配置された第2溶剤使用表示部 460A～460C、第1識別情報表示部 451及び第2識別情報表示部 452の確認作業と一緒に、制御用マイクロコンピュータに対する不正行為の確認作業を容易に行うことが可能となるため、作業負担を軽減できる。

【手続補正 22】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0281

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0281】

また、本実施例 1では、ベース側封印部 229及びカバー側封印部 224からなる封印部の周囲には、貼付された封印シール 400の周囲を囲むように周壁部である位置決め凸条 411，421が形成されていることで、封印シール 400を剥離する際に周囲の位置決め凸条 411，421が邪魔になって剥離しにくくなるため、溶剤により剥離した封印シール 400を再度貼付するといった不正行為を抑制できる。

【手続補正 23】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0294

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0294】

尚、本実施例では、基板ケース 200の被取付部としての取付封止片 230、予備用取付封止片 231が取り付けられる可動ベース 302の取付部としてのネジ穴 316a，316bを有する取付台座 315は、可動ベース 302に対して取り付け、取り外し可能に設けられているため、基板ケース 200を2回取り外した場合でも、取付台座 315のみ

を交換すれば、可動ベース 302 を交換せずに使いまわすことが可能であるが、これらネジ穴 316a、316b は可動ベース 302 に直接形成されていてもよい。

【手続補正 24】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0304

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0304】

遊技領域 1007 の中央付近には、液晶表示装置 (LCD) で構成された演出表示装置 1009 が設けられている。演出表示装置 1009 では、第 1 特別図柄または第 2 特別図柄の可変表示に同期した演出図柄 (飾り図柄) の可変表示 (変動) が行われる。よって、演出表示装置 1009 は、識別情報としての演出図柄 (飾り図柄) の可変表示を行う可変表示装置に相当する。演出表示装置 1009 は、演出制御基板 1080 に搭載されている演出制御用マイクロコンピュータによって制御される。演出制御用マイクロコンピュータが、第 1 特別図柄表示器 1008a で第 1 特別図柄の可変表示が実行されているときに、その可変表示に伴って演出表示装置 1009 で演出表示を実行させ、第 2 特別図柄表示器 1008b で第 2 特別図柄の可変表示が実行されているときに、その可変表示に伴って演出表示装置 1009 で演出表示を実行させるので、遊技の進行状況を把握しやすくすることができる。

【手続補正 25】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0342

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0342】

演出制御用 CPU 1120 は、受信した演出制御コマンドに従ってキャラクター ROM (図示略) から必要なデータを読み出す。キャラクター ROM は、演出表示装置 1009 に表示されるキャラクター画像データ、具体的には、人物、文字、図形または記号等 (演出図柄を含む) をあらかじめ格納しておくためのものである。演出制御用 CPU は、キャラクター ROM から読み出したデータを VDP (図示略) に出力する。VDP は、演出制御用 CPU 1120 から入力されたデータに基づいて表示制御を実行する。

【手続補正 26】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0345

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0345】

さらに、演出制御用 CPU 1120 は、出力ポート (図示略) を介してランプドライバ基板 1035 に対して LED を駆動する信号を出力する。また、演出制御用 CPU は、出力ポート (図示略) を介して音声制御基板 1070 に対して音番号データを出力する。

【手続補正 27】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0370

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0370】

このようにシール保護カバー 1228 は、カバー部材 1202 の前面側から後面側に向けて押し込むことでカバー部材 1202 に係止することができるようになっている。そして係止された装着状態において、第 1 被覆片 1620 及び第 2 被覆片 1621 の内面周縁が位置決め凸条 1411、1421 及び位置決め角部 1412、1422 それぞれの当接

規制面 1 4 1 3 , 1 4 2 3 に当接することで、第 1 被覆片 1 6 2 0 及び第 2 被覆片 1 6 2 1 の内面側辺部と封印シール 1 4 0 0 の表面 1 4 0 0 a との対向面が互いに離間配置されて非接触状態に維持される。よって、シール保護カバー 1 2 2 8 を当接規制面 1 4 1 3 , 1 4 2 3 に当接した状態で前後にスライドさせて封印部 1 2 2 4 , 1 2 2 9 に対して着脱する際においても、封印シール 1 4 0 0 に接触することがないとともに、装着した状態において、シール保護カバー 1 2 2 8 に何らかの外力が付与されても、封印シール 1 4 0 0 に直接伝わるることがないので、封印シール 1 4 0 0 の破損が防止される。

【手続補正 2 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 3 7 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 3 7 8】

また、封印シール 1 4 0 0 は、該封印シール 1 4 0 0 の粘着力を低下させるために所定の溶剤（例えば、溶剤 A や溶剤 B など）が用いられたときに該溶剤が使用された痕跡を示す第 1 溶剤使用表示部 1 4 5 0 A ~ 1 4 5 0 D や第 2 溶剤使用表示部 1 4 6 0 A ~ 1 4 6 0 D を有することで、溶剤を使用して封印シール 1 4 0 0 の粘着力を低下させようとした場合、該封印シール 1 4 0 0 の第 1 溶剤使用表示部 1 4 5 0 A ~ 1 4 5 0 D や第 2 溶剤使用表示部 1 4 6 0 A ~ 1 4 6 0 D に該溶剤が使用された痕跡（例えば、第 1 溶剤使用表示部 1 4 5 0 A ~ 1 4 5 0 D や第 2 溶剤使用表示部 1 4 6 0 A ~ 1 4 6 0 D が薄くなる）が残ることで、溶剤を使用して封印シール 1 4 0 0 の粘着力を低下させようとしたことがわかるようになるため、例えば、第 3 者が溶剤により封印シール 1 4 0 0 を剥離して基板ケース 1 2 0 0 を開封した後、不正な主基板 1 0 3 1 を収納した基板ケース 1 2 0 0 に、剥離した封印シール 1 4 0 0 を再度貼付されても、基板ケース 1 2 0 0 が開封されたことを容易に判別することが可能となる。

【手続補正 2 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 3 9 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 3 9 1】

また、図 2 4 に示すように、本実施例 2 では、基板ケース 1 2 0 0 は、パチンコ遊技機 1 0 0 1 の背面略中央位置に取り付けられている。また、各種ケーブル 1 7 0 0 が接続される基板側コネクタ（図示略）が臨むコネクタ用開口 1 2 3 6 は、基板ケース 1 2 0 0 の上辺部に沿って配設されている。そして、主基板 1 0 3 1 に接続されるこれらケーブル 1 7 0 0 は、例えば右側方の配線挿通部 1 7 5 0 にまとめて挿通されている。

【手続補正 3 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 3 9 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 3 9 7】

また、本実施例 2 では、ベース側封印部 1 2 2 9 及びカバー側封印部 1 2 2 4 からなる封印部の周囲には、貼付された封印シール 1 4 0 0 の周囲を囲むように周壁部である 位置決め凸条 1 4 1 1 , 1 4 2 1 が形成されていることで、封印シール 4 0 0 を剥離する際に周囲の 位置決め凸条 1 4 1 1 , 1 4 2 1 が邪魔になって剥離しにくくなるため、溶剤により剥離した封印シール 4 0 0 を再度貼付するといった不正行為を抑制できる。